

研究の計画

I 研究主題

豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育

－生活を見つめ、考え、よりよくしようと実践する子どもの育成－

II 研究のねらい

- 子ども一人一人が、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。
- 生活を見つめ、人、自然や環境、社会、生活文化と豊かに関わりながら課題を解決する力を養う。
- 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

III 研究の視点

1 基礎・基本の定着と活用を図る指導計画

(1) 育成すべき資質・能力の明確化

- 「知識及び技能」の習得に係る事項と、「知識及び技能」を活用して「思考力、判断力、表現力等」を育成することに係る事項との関連を図りながら、各題材で育成すべき資質・能力の明確化を図る。
- 子どもが生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その課題を解決する力及び主体的に粘り強く学習に取り組む力の育成を重視する。

(2) 家庭生活を総合的に捉えたカリキュラム・マネジメントの推進

- 段階的に繰り返し学びながら基礎的・基本的な知識及び技能の定着が図られるよう題材構成や配列を工夫する。
- 「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活・環境」の内容を相互に関連させ、指導の効果を高める。
- 家庭と地域との関連、学校行事や他教科等との関連を図りながら、題材や学習活動を設定し、知識及び技能の活用や学びの価値を実感させる。
- 小・中学校5年間の学びの見通しをもち、系統的な指導が行えるよう指導計画を見直す。

2 できる・分かる・考える授業づくり

できる・分かる・考える授業とは…

- 課題追究を通して、自分の思いや願いがかなうワクワクする授業
- 生活に必要な力が身に付いたと実感できる授業
- 身に付けた力を基に、生活をよりよくする方法を新たに考え出す授業
- 課題をもって考えたり、考えを出し合ったりしていきいきと解決を目指す授業
- 家庭生活に生かしたいという実践意欲がむくむくと沸き起こる授業

(1) 子どもの主体的な学びを促す問題解決的な学習指導の工夫

- 学習のねらいを明確に設定し、子どもが見通しをもって主体的に学び、振り返ることを通して学習内容を身に付けたり、新たな課題を発見したりすることができるような学習過程を工夫する。
- 子どもの気付きを促す手立てや、実生活とのつながりを重視した学習展開を工夫する。
- 個に応じた指導の充実を図り、ユニバーサルデザインの視点に立った指導方法を工夫する。

- (2) 実感を伴った理解を促す実践的・体験的な活動の充実
 - 「できる」「分かる」を実感したり、科学的な理解を深めたりするために、五感を生かした直接体験や、実生活につながる模擬体験等を充実させる。
- (3) 言語活動の充実
 - 言葉や図表、概念などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、体験したことを説明したり、表現したりするなどの活動を充実させる。
 - 課題解決に向けて協働したり、話し合ったりして、考えを広げ深め合う学習を工夫する。
 - タブレット端末などコンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用し、思考の過程や結果を可視化・共有化したり、情報を収集し編集したりすることを繰り返し行うことで、試行錯誤しながら学習を進められるようにする。

3 子どもが伸びる学習評価

- (1) 自己の成長を自覚できる評価の工夫
 - 子どもの思考を可視化し、学習の過程を評価できるワークシートや評価カードを工夫する。
 - 2年間の自己の学びや成長を感じることでできるワークシートや記録の仕方を工夫する。
- (2) 子どもの成長や授業の改善に生きる評価の工夫と蓄積
 - 目標を明確にし、具体的な評価規準を基に適切な方法で評価したものを蓄積し、子どもの指導や授業の改善に生かすなど、目標・指導・評価の一体化を図る。
 - 子どもの思考の変容や伸びを見取る多様な評価方法を工夫する。

4 家庭や地域との連携

- (1) 学校と家庭・地域をつなぐ学習展開の工夫
 - 学校と家庭生活のつながりを重視した指導計画を工夫し、保護者や地域人材・伝統行事等を積極的に活用する。
 - 生活文化の大切さや郷土のよさに気付く題材開発に努める。
- (2) 継続的な実践を促す工夫
 - 各種通信の発行、参観日等を活用したり、長期休業を実践の場として設定したりするなど、習得した力を実生活で活用できるように工夫する。

IV 留意事項

- 生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、実生活と関連を図った問題解決的な学習を効果的に取り入れ、身近な生活の課題を解決する能力を育む指導を充実させる。
- 家庭科としての学びを確実にする観点から、プログラミング体験の実施やプログラミング的思考の育成を意識した指導を工夫する。
- 消費・環境・福祉・健康問題等の身近な課題を解決しようとする実践的な態度を育成する。
- 栄養教諭等との連携など食に関する指導の充実を図り、調理実習では食物アレルギーなどについても配慮する。
- 総合的な学習の時間をはじめ他教科等との関連を図る際は、家庭科のねらいを明確にし、指導に当たる。
- 特別の教科道徳との関連を図り、家族や家庭生活を大切にしている心情や実践的態度を養う。
- 施設・設備の安全管理や学習環境の整備に努め、安全・衛生（感染症対策を含む）に関する指導の徹底を図る。